

2026. 1. 29

11月に実施した職業インタビューの事後学習として、1月に発表を行いました。事前学習、当日、そして事後学習の発表まで、一つひとつの過程に真剣に向き合い、やるべきことを丁寧に積み重ねる姿は、まさに“中学2年生の成長期の真ん中”にいる、力強い姿そのものでした。



今回の職業インタビューについて、全体の94%の人が「自分のこれからの生き方に役立った」と回答しています。これは数字以上に、みなさんの成長の深さを物語っています。

全体のうち **75 名**が、「進路について考えるきっかけになった」と感じていました。相手の実体験を聞いたことで、「自分はどんなふうに働きたいか」「どんな人になりたいか」と、未来の自分を思い描く力が育っています。

スライドづくりや発表では、限られた時間の中で要点をまとめ、伝えたいことを整理して表現する力がしっかりと伸びました。

全体のうち 84 名が「伝え方の工夫が必要だと感じた」と答えていますが、それは“もっと良くしよう”と努力した証であり、今後の大きな財産です。

全体のうち **86 名**が、苦勞や努力の話に心を動かされています。

これは、相手を尊重しながら話を聞き、自分の学びに変える“成熟した姿勢”が身についてきている証拠です。

今回の職業インタビューで育った

- 相手の話を理解する力
- 自分の考えを言語化する力
- 未来について考える力

これらすべては、3学期の進路学習で大きな力になります。

特に、今回の活動で「自分にもできることがある」「夢を少し具体的に描けた」と感じた経験は、これから自分の進路を選択していくうえでの土台になります。“ただ調べる”のではなく、“考える”“比べる”“選ぶ”という3学期の進路学習につなげましょう。

[illegible]